

報道関係者各位

令和8年5月1日

目指せ出荷量537t！（売上高5億3700万円） 万願寺甘とう初出荷・出発式（セレモニー）について

このたび、JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会及び京都丹の国農業協同組合の主催による「万願寺甘とう初出荷・出発式」が、下記のとおり開催されますのでお知らせします。
なお、前日5月19日（火）にほ場取材を実施します。

【初出荷・出発式について】

- 日時 令和8年5月20日（水）午前9時00分から
- 場所 JA京都にのくに舞鶴万願寺甘とう検品場
（舞鶴市字下福井1183「京都府北部地方卸売市場向かい」）
- 内容
(1) 開会あいさつ（部会協議会長、京都丹の国農業協同組合）
(2) 関係機関激励（京都府、舞鶴市）
(3) 来賓及び生産者部会役員紹介
(4) 情勢報告（全国農業協同組合連合会 京都府本部）
(5) 決意表明（部会協議会副会長）
(6) 閉会挨拶（部会協議会副会長）
- 選果作業 午前8時30分頃から随時行っています ※セレモニーの間は作業を休止します。
- 参集者 部会協議会役員、京都青果合同(株)、舞鶴合同青果(株)、京都府中丹広域振興局、京都府中丹東・西農業改良普及センター、舞鶴市、綾部市、福知山市、京都府農業共済組合、JA全農京都、（公社）京のふるさと産品協会、中丹地域特産物育成協議会、JA京都にのくに（合計約30名）
- 問い合わせと連絡先
JA京都にのくに 営農経済部 販売促進課（担当：高見・伊東） TEL:0773-42-1814
※当日の取材については、JAへ事前に連絡してください。



まち
この舞鶴に
北陸新幹線を。

舞鶴市 農林課（担当：濱田、野村）
〒625-8555 舞鶴市字北吸1044
TEL:0773-66-1023、FAX：0773-62-9891
E-mail:nourin@city.maizuru.lg.jp

京の伝統野菜・京のブランド産品

「万願寺甘とう」の概要

京都府舞鶴市の万願寺地区で、大正末期から昭和初期にかけて誕生したと伝えられ、当時はおもに農家の自家野菜として栽培されていました。現在は、JA京都にのくに管内（舞鶴市・綾部市・福知山市）で栽培が広がり、京の伝統野菜・京のブランド産品として認証、平成29年には府内初となる「地理的表示（GI）保護制度」に登録されている京野菜を代表する農産物です。

各農家で収穫された万願寺甘とうは、「JA京都にのくに万願寺甘とう検品場」（舞鶴・福知山の2か所）に集められ、「秀・優・良」の三等級に選別・袋詰めして出荷されます。令和7年度、主な出荷先の内訳は、京都市場へ77%、首都圏へ12%、その他へ11%となります。

【令和7年度実績】

	栽培面積 (a)	出荷数量 (トン)	販売額 (千円)	生産者数 (人)
舞鶴市	569.5	194.5	187,780	86
綾部市	397.7	116.8	107,350	86
福知山市	487.4	187.5	178,413	91
合計	1,454.6	498.8	473,543	263

(端数処理によるもの)

【販売経過】

大正末期頃 舞鶴市万願寺地区で栽培が始まる
昭和58年 旧舞鶴中筋農協管内で本格的に出荷始まる
昭和63年 旧舞鶴農協管内へも生産拡大
平成元年 府が指定する「京のブランド産品」に認証
平成5年 「万願寺甘とう」として商標登録
平成13年 販売額1億円達成
平成16年 JA京都にのくに管内に生産拡大
平成20年 ふるさと舞鶴めぐりブランド推奨品に認証
平成23年 販売額2億円達成
平成27年 販売額3億4,000万円、出荷数量491トン達成
平成28年 出荷数量過去最高560トン達成
平成29年 国が指定する「地理的表示（GI）保護制度」に登録
令和元年 販売額過去最高3億9,000万円達成
令和2年 販売額過去最高4億円達成
令和3年 販売額過去最高4億1,600万円達成
令和6年 販売額過去最高4億4,200万円達成
令和7年 販売額9年連続で過去最高を更新（4億7,350万円）

※万願寺甘とうとは・・・

在来種として生産されていた肉厚で大型のとうがらしの中には、非常に辛いものがあったため、京都府の研究機関が辛味果のない、より品質の高い改良種を、万願寺甘とうとしてブランド化したものです。



まち
この舞鶴に
北陸新幹線を。

舞鶴市 農林課 (担当：濱田、野村)
〒625-8555 舞鶴市字北吸1044
TEL:0773-66-1023、FAX:0773-62-9891
E-mail:nourin@city.maizuru.lg.jp